

新編立川市史 資料編 近世1 目次

口絵

刊行にあたって

凡例

目次

この本を読まれる方へ

第一章 鈴木家文書

総説

第一節 村のすがたとしくみ

解説

一 柴崎村の概要

1 天保八年一〇月 柴崎村絵図

2 宝暦九年閏七月 柴崎村村鑑帳

3 明和八年三月 柴崎村村鑑帳

二 柴崎村の取り決め

4 享保一七年一〇月 御料私領の区別なき年貢諸役の分担につ

いての村中連判の請書

5 享和三年三月 柴崎村五人組帳

6 天保五年三月 柴崎村五人組帳

7 嘉永六年一〇月 冠婚葬祭の簡素化に関する村法取り決めの

請書

8 慶応三年 用水普請人足に関する余荷の取り扱いについての

議定書

三 柴崎村の村役人と争論

9 亥(享保一六年) 四月 加藤与兵衛の名主退役願い

10 享保一七年六月 年番名主の中嶋次郎兵衛への交代について

の任命書

11 宝暦四年六月 中嶋次郎兵衛組頭休役のため善右衛門へ跡役

任命願い

12 宝暦四年六月 中嶋次郎兵衛組頭休役願についての済口証文

13 宝暦四年一月 名主休役のため跡役名主へ立替金の支払い

を求める願書

14 宝暦四年一月 名主休役のため跡役名主へ諸帳面の引き継

ぎを求める願書

15 天明六年二月 日野宿助郷人馬触れ当て一件についての留帳

16 天明六年四月 次郎兵衛・与兵衛へ対する貯穀割り渡し出入

りについての訴状

17 天明六年二月 貯穀割り渡し出入り内済による議定書

18 天明七年正月 与兵衛・次郎兵衛・平九郎の名主退役につい

ての小前百姓議定書

19 天明七年二月 名主交代に伴う引き継ぎの御用書物の受け取

り状

20 天明七年二月 名主交代に伴う引き継ぎの御用書物の受け取

り状

21	天明七年三月 鈴木五郎市への組頭引き継ぎについての組中 議定書……………	60
22	天明八年三月 鈴木五郎市への組頭引き継ぎについての組中 願書……………	61
23	寛政元年四月 鈴木五郎市への組頭引き継ぎ一件についての 濟口証文……………	62
<b>第二節 村人の負担</b>		
解説……………		
一 幕領の年貢・諸役		
24	元禄五年一〇月 柴崎村年貢割付状……………	67
25	正徳二年一月 柴崎村年貢割付状……………	69
26	延享五年二月 柴崎村川原新田年貢皆済目録……………	73
27	寛延二年一月 柴崎村年貢割付状……………	73
28	寛政五年二月 寛政三年分柴崎村年貢割付状……………	76
29	寛政一二年三月 柴崎村年貢皆済目録……………	81
二 旗本中川領の年貢・諸役		
30	享保二〇年正月 柴崎村中川知行所年貢皆済状……………	82
31	安永七年八月 中川氏へ用立てた金子の返済を求める願書……………	82
三 尾州鷹場		
32	宝暦二年二月 尾州御用鮎の魚数不足についての請書……………	83
33	宝暦三年 鷹場御用・鮎上納における御鷹場預り小川弥五左 衛門の専横に対する訴状……………	84
34	宝暦五年四月 尾州様・御本丸の鮎御用の両方は務めがたき 旨の願書……………	85
35	寛政六年六月 立川陣屋建築における見分役人の賄い入用に ついで証文……………	86
36	文化四年六月 鷹場法度の遵守についての請印帳の控……………	87
四 鮎上納		
37	天明二年九月 玉川御用鮎世話役の起こり御尋ねについての 返答書……………	87
38	嘉永二年三月 上ヶ鮎御用に差し支える上り築の取り払い願 い……………	88
39	文久二年一〇月 上ヶ鮎御用に差し支える川下一二か村の上 り築鮎漁の取り締まり願……………	89
40	寅（慶応二年カ）七月 上ヶ鮎不漁のため出役を願ひ出る時 期を尋ねる書状……………	90
41	寅（慶応二年カ）八月 大雨のため上ヶ鮎捕り生けの見込み を尋ねる書状……………	91
42	寅（慶応二年カ）八月 上ヶ鮎捕り生けの様子を尋ねる書状……………	91
43	卯一〇月 御買上げ鮎代の領収書……………	92
44	午一二月 上ヶ鮎代銭の受け取りについての廻状……………	93
45	酉四月 鵜鮎組合の漁業についての取り扱い趣意書……………	93
46	年月不詳 鵜鮎組合の漁業についての口達覚……………	93
五 江戸伝馬・日野宿助郷		
47	延享四年正月 江戸伝馬覚帳……………	94

48	安永三年四月 日野宿助郷一件定めのこと	96
49	寛政一三年正月 日野宿伝馬の人足入用についての留帳	97
	第三節 新田の開発	
	解説	108
	一 一七世紀の開発	
50	寛文七年閏二月 開発田地を普濟寺領へ囲い入れると定める	111
	証文	111
51	寛文七年一二月 開発田地を普濟寺領へ囲い入れると定める	111
	証文	111
52	宝永元年一〇月 柴崎村年貢割付状写	112
53	享保三年一二月 普濟寺領開発田地の年貢米の取り立て方を定める証文	115
	二 享保の新田開発	
54	享保八年正月 武蔵野の新田開発と御林設定に反対する願書	116
55	享保一五年七月 新田場の川欠立ち返り分の取り扱いに対する訴状	119
56	享保一六年四月 柴崎村川原新田場の開発を百姓五二名に命じられたき旨の願書	120
57	享保一七年一〇月 柴崎村年貢割付状写	121
58	享保一八年三月 柴崎村新田反別帳	121
59	享保一八年一二月 柴崎村下川原芝地の年季売り渡し証文	127
60	享保一九年八月 新田場用水堀人足入用の勘定違ひに対する訴状	127

61	享保一九年一〇月 柴崎村年貢割付状写	128
62	享保二〇年五月 柴崎村開発場年貢皆済目録写	129
	三 武蔵野新田の成立	
63	元文三年一〇月 柴崎村年貢割付状	129
64	元文三年一〇月 柴崎村年貢割付状	130
65	文政三年一〇月 柴崎新田百姓の肩書出入り内済についての請書	131
66	文政三年一〇月 柴崎新田百姓の肩書出入り内済についての請書	132
67	(文政三年) 柴崎新田百姓の肩書出入りについての済口証文	132
	第四節 村と水	
	解説	135
	一 近世前中期の水論	
68	年月不詳 延宝九年と貞享四年の裁許絵図裏書写	137
69	正徳二年四月 拝島領九ヶ村と日野領七ヶ村の用水堰論の裁許絵図裏書写	138
70	正徳元年(文政四年) 拝島領九ヶ村用水組合についての諸書類の写	139
	二 玉川用水組合	
71	宝暦一〇年五月 拝島用水組合八ヶ村による秋川からの引水願い	149
72	宝暦一〇年一〇月 拝島用水組合八ヶ村による論所絵図作成についての起請文	151

73	宝暦一年八月 秋川から引水のため用水路付け替えについ て柴崎村外六ヶ村と拝島村の請書……………	152
74	年月不詳 柴崎村一か村限りの用水掘り立て願ひ……………	154
75	安政二年 柴崎村外五ヶ村用水の新井路掘り立てについて地 主に対する訴状……………	155
76	慶応二年四月 大神村起返り田への用水引き方についての議 定書……………	158
	三 玉川上水分水	
77	元文二年八月 柴崎村分水の掘り立て許可についての御礼一 札……………	159
78	文政二年閏四月 柴崎村分水口についての御尋ねに対する返 答書……………	160
79	文久元年六月 柴崎村分水の字下和田へ掘廻しについての願 書……………	161
80	文久元年一〇月 柴崎村分水の字下和田へ掘廻しについての 小前百姓連印証文……………	161
81	文久元年二月 字下和田への掘廻し出来についての請書……………	163
	四 玉川上水水車	
82	弘化三年六月 柴崎村分水における水車稼ぎについての申し 上げ書……………	164
83	安政三年八月 柴崎村分水口流末の村高家数田反別水車書上 帳……………	164

	五 水害と川除普請	
84	寛政一〇年二月 日野本郷の玉川普請の引き払い願ひについ て柴崎村外五ヶ村の議定書……………	167
85	弘化二年三月 宮沢村百姓の所持地を用水路にすることに いての議定書……………	168
86	弘化三年九月 玉川の洪水に伴う川除普請見分についての拝 島村外六ヶ村議定書……………	169
87	安政六年八月 玉川の洪水における被害届け……………	170
88	安政六年九月 玉川の洪水による年貢減免願ひについての柴 崎村百姓の頼み証文……………	171
	第五節 村の産業	
	解説……………	173
	一 農業と水	
89	嘉永五年六月 秋川堰入り並びに雨乞い入用割りについての 一件記録……………	175
	二 林地と樹木	
90	元文六年正月 作場道への植え付けをめぐる出入りについて の済口証文……………	194
91	宝暦四年五月 木陰出入りににおける見分役人の宿所と賄い方 についての証文……………	194
92	宝暦四年五月 植杉木陰をめぐる出入りについての済口証文……………	195
93	宝暦一四年正月 諏訪明神社地の古木根伐り売り払い一件に ついで済口証文……………	196

94	宝曆一四年正月 諏訪明神社地の立ち枯れ松木の伐木代金預り証文……………	197
95	明和四年九月 屋敷堺ぐねの木伐払い一件についての願書……………	197
96	寛政六年 武蔵・相模・上総・下総の秣場・芝地・空地への楮の植え付け許可願い……………	198
97	天保八年七月 立川新田居屋敷内の竹木売り渡し証文……………	199
98	三 薪炭の輸送 享和四年正月 御用札を立てて炭・柏木川下げの者に対する訴訟についての頼み一札……………	200
99	享和四年二月 馬持百姓難儀のため炭の新規川下げ取り止め願い……………	201
100	四 養蚕と生糸 明和六年三月 蚕種紙覚帳……………	203
101	安政六年四月 糸目方最寄り村々取り調べ書き上げ帳……………	205
102	寅（慶応二年）五月 糸目改め等についての口達の覚……………	208
103	五 商売と金融 天保一五年八月 質物・古着・古鉄買渡世の取り締まりに対する請書（抄録）……………	209
104	嘉永五年一月 頼母子講御連名帳……………	211
105	慶応四年七月 質方利足勘定帳……………	213

第六節 寺社と信仰	解説……………	218
一 諏訪社修繕	寛文一〇年五月 柴崎村諏訪社の棟札写……………	220
寛延三年九月 柴崎村諏訪社の棟札写……………	220	
天保一一年 柴崎村八幡社の棟札案……………	220	
安政二年九月 諏訪社惣氏子分限仕訳帳……………	221	
安政二年九月 諏訪社再建における大工棟梁の請負証文……………	229	
安政三年七月 諏訪社再建における塗師の請負証文……………	230	
安政三年九月 諏訪社の再建費用の取集めについての仕法案……………	230	
安政三年一二月 諏訪社再建における屋根葺師の請負証文……………	233	
巳（安政四年）正月 諏訪社再建における彫物師の請負証文……………	234	
安政四年正月 諏訪社再建における彫物師の請負証文……………	234	
安政四年五月 諏訪社再建における屋根瓦師の請負証文……………	236	
安政五年五月 諏訪社再建における屋根瓦師の請負証文……………	237	
年不詳三月 石灯籠の引き取りを求める催促状……………	237	
二 普濟寺借財返済	嘉永七年（慶応二年）普濟寺の借財返済についての仕法（抄録）……………	238
安政五年七月 普濟寺賄い入用のための金子借用手形……………	239	
三 獅子舞と相撲興行	文政四年七月 獅子舞再興のための小麦取り集め帳……………	240
辰（天保一五年）七月 諏訪社祭礼における相撲興行願い……………	243	

137	文化七年初春 月並発句集……………	299	138	亥(文化一二年) 鈴木重信の追悼句集……………	306
136	文久元年七月 鈴木重固の俳諧詠草帳……………	293	139	年不詳二月 月並句集の入手の件についての書状……………	307
135	三 立川連と俳諧文化		140	年不詳一月 月並句集の配布を願う書状……………	308
134	子(元治元年)八月 遺産分配についての遺言状……………	291	141	年不詳一二月 月並句集の呈上を願う書状……………	308
133	元治元年六月 鈴木重固の葬式ほか法事の記録……………	263	142	年月不詳 月並句集の受け取り等についての書状……………	308
132	二 百姓の死と遺言		143	(文久二年) 猿渡盛章古稀の賀筵の招待状……………	309
132	年月不詳 穂積姓鈴木氏系図……………	253	四 村の出来事		
	一 家の系図と由緒		144	寛政一一年四月 欠落人の妻子をめぐる出入りについての済	310
解説……………		251		口証文……………	310
131	年月不詳 柴崎新田の祭礼についての商人名書き上げ……………	250	145	寛政一一年六月 家内へ立ち入り狼藉一件についての済	310
130	年月不詳 柴崎新田の祭礼についての出店覚書……………	249		文……………	310
129	万延元年七月 柴崎新田の灯笼についての覚書……………	248	146	文化一三年三月 家内に大勢人を集める悪事についての詫び	312
128	(万延元年七月) 柴崎新田の灯笼についての覚書……………	247		証文……………	312
四 四社大明神祭礼			147	天保五年八月 柴崎村百姓による悪事についての書き上げ……………	312
127	(安政六年) 天保一四年・弘化四年・嘉永七年新揃えの獅子	246	148	天保一五年一月 御法度の衣類着用の件についての宥免願……………	314
	代ほか勘定の記録……………	246	149	午(弘化三年)四月 博奕悪事の件の吟味下げについての請	314
126	(弘化四年カ)七月 獅子道具注文のための出府雑用費の領	245		書……………	314
125	(弘化四年カ)七月 緋縮緬・白麻代金の領収書……………	245	150	安政三年五月 親子・兄弟不和一件内済についての連印証文……………	316
124	(弘化四年カ)七月 緋緞子代の領収書……………	245	151	辰正月 母親に対して平日の所業の改善を誓う証文……………	317
123	未(弘化四年)七月 祭礼道具の受け取り証文……………	244	第八節 幕末の柴崎村		
	収書……………	245	解説……………		
			一 幕末の海防・政争と柴崎村		
			嘉永六年一〇月 柴崎村御国恩献金願名前帳……………	321	

169	慶応二年一二月 違作による困窮人への救済記録……………	353
168	慶応二年六月 困窮人徒党による質屋へ貸付強要一件落着 による小前百姓の証文…………… による小前百姓の請書……………	352 353
167	慶応二年六月 困窮人徒党による質屋へ貸付強要一件落着に よる吟味下げ願……………	350
166	慶応二年六月 困窮人徒党による質屋へ貸付強要一件落着に よる吟味下げ願……………	347
165	慶応元年七月 鈴木重斯の役入りほかについての記録……………	346
164	年月不詳 柴崎村農兵・剣術方名前一覧……………	345
163	三 揺れる村 書状……………	344
162	子(元治元年)三月 普濟寺境内での野試合開催についての 書状……………	343
161	文久四年二月 劍客同盟講序文案……………	338
160	文久四年正月 甲子講序文及び加入人名簿……………	335
159	文久三年 剣術試合取り組み……………	328
158	文久三年一〇月 寒稽古中諸人用控帳……………	326
157	文久三年春 天然理心流撃劍稽古人姓名帳……………	325
156	文久三年三月 普濟寺境内での陣立て稽古への参加依頼……………	325
155	丑(慶応元年)九月 御進発に伴う献金の領収書…………… 丑(慶応元年)九月 御進発献金に対する褒美の受け取り書…………… 二 天然理心流のひろがり	325 325
154	丑(慶応元年)九月 御進発に伴う献金の領収書……………	324
153	戌(文久二年)九月 文久幕政改革への対応に関する意見書……………	324

170	慶応三年一二月 離組一件について年貢未納の吟味を求める 訴状……………	368
171	慶応三年一二月 離組一件の落着についての諸書類写……………	367
172	慶応三年一二月 離組一件の経費分担についての名主・年寄 の議定書……………	366
173	慶応四年四月 村役人八名の不正に対する訴状……………	364
174	慶応四年閏四月 村役人不正の訴えに対する返答書……………	362
第二章 五十嵐盈三家文書		
解説……………		
第一節 離組一件		
1	慶応三年正月 離組一件の費用の分担を定める離組の議定書……………	371
2	慶応三年一二月 離組一件についての離組の返答書下書……………	371
3	慶応三年一二月 離組一件についての離組の訴状……………	373
4	(慶応三年) 離組一件についての離組の訴状下書……………	375
5	(慶応三年) 離組一件についての離組の返答書下書……………	375
6	明治二年正月 離組一件についての離組の訴状下書……………	375
第二節 儀式と礼法		
7	寛政一〇年冬 当流礼方……………	376
8	安政四年八月 年季法要についての算用帳……………	379
9	慶応元年一二月 初着受納の記録……………	382
10	慶応三年二月 智入りの記録……………	385
11	慶応四年九月 香典帳……………	388

12	明治四年一月 七才祝いの受け取り記録……………	396
<b>第三章 井上家文書</b>		
解説……………		
1	嘉永四年三月 普濟寺檀家のうち字台講中は常楽院で焼香を 受けることの証文……………	400
2	嘉永四年三月 庄右衛門屋敷を養子に相続させることについ ての証文……………	402
3	安政五年二月 井上宇右衛門道中名所日記帳……………	403
4	安政五年三月 井上宇右衛門道中名所日記帳……………	419
5	安政五年一月 不和の夫婦の再縁についての証文……………	431
6	慶応三年二月 宇右衛門組の田方年貢勘定帳……………	432
<b>第四章 小川家文書</b>		
解説……………		
<b>第一節 一七世紀の柴崎村</b>		
1	万治三年三月 前地太郎衛門一件についての返答書……………	439
2	延宝五年三月 柴崎村惣百姓の訴えに対する小川弥五兵衛の 返答書……………	439
3	午(延宝六年)二月 小川弥五兵衛より柴崎村百姓の我儘に 対する訴状……………	440
4	延宝六年三月 柴崎村百姓の年貢未納に対する訴状……………	441
<hr/>		
<b>第二節 柴崎村の年貢・諸役</b>		
5	貞享四年一月 柴崎村年貢割付状……………	442
6	享保七年七月 柴崎村年貢勘定目録……………	444
7	宝暦九年一二月 柴崎村新田年貢受け取り状……………	445
8	寛政一〇年一二月 八王子千人町へ納入する柴崎村年貢米の 預り状……………	445
9	享和三年一二月 八王子千人町へ納入する柴崎村年貢米の預 り状……………	446
10	年月不詳 伊丹屋六郎右衛門へ渡す柴崎村年貢米の覚……………	446
<b>第三節 柴崎村の取水と新開</b>		
11	寛文九年閏一〇月 字大和田下川原の新田開発願写……………	447
12	貞享四年四月 玉川新堀をめぐる争論についての返答書……………	447
13	元文二年一二月 小川弥五兵衛所有地における松木伐採一件 についての済口証文……………	448
14	安永三年三月 田場用水の引き方についての済口証文……………	450
15	万延元年一〇月 下川原荒地起返し改め帳……………	451
<b>第四節 経営と諸稼ぎ</b>		
16	元禄一五年一二月 普濟寺領田畑の売り渡し証文……………	453
17	正徳六年四月 日野本郷居屋敷・中畑の流地証文……………	454
18	享保一一年五月 日野本郷中田の小作証文……………	454
19	享保一一年五月 日野本郷下田の小作証文……………	454
20	午(寛延三年)五月 殺生人の鷹場内の移動許可についての 証文……………	455

21	子（文化元年）四月 柴崎村における困窮人御尋ねについて の返答書……………	455
----	--	-----

22	文化六年一〇月 水車稼ぎについての申し上げ書……………	457
----	-----------------------------	-----

## 第五章 諏訪神社文書

解説……………	460
---------	-----

### 第一節 縁起と経営

1	（延享二年） 柴崎村諏訪社・八幡社の由来記……………	462
---	----------------------------	-----

2	寛政八年正月 諏訪社及び神職宮崎家の万覚帳……………	463
---	----------------------------	-----

3	寛政一一年秋 柴崎新田諏訪社・熊野社の造営勸化帳……………	472
---	-------------------------------	-----

4	寛政一二年九月 柴崎新田諏訪社・熊野社の勧請文……………	473
---	------------------------------	-----

5	寛政一二年秋 柴崎新田諏訪社・熊野社造立の銘文……………	473
---	------------------------------	-----

6	文化六年二月 柴崎村八幡社の略縁起……………	474
---	------------------------	-----

### 第二節 神事と祭礼

7	（宝暦四年） 普濟寺に対し宮崎家神職の神葬祭の許可を求め る願書……………	475
---	--	-----

8	宝暦四年四月 普濟寺へ対する神葬祭出入りに関する訴状……………	476
---	---------------------------------	-----

9	文化二年四月 普濟寺に対し宮崎家神職の神葬祭の許可を求 める願書……………	477
---	--	-----

10	文政元年七月 柴崎村諏訪社・八幡社の祭礼記録……………	477
----	-----------------------------	-----

11	嘉永五年六月 雨乞いの祝詞の下書き……………	480
----	------------------------	-----

12	安政六年八月 大水にて獅子社頭へ飾り置きにつき寄進覚……………	480
----	---------------------------------	-----

### 第三節 地域の学びと文化

13	文化一四年一月 手習塾宮本舎における天神講の記録……………	481
----	-------------------------------	-----

14	慶応四年八月 宮崎詮房を弔う石宮勸化のための筆子連名帳……………	483
----	----------------------------------	-----

15	天明五年一二月 宮崎隆綱の詩稿……………	486
----	----------------------	-----

16	（文久二年） 猿渡盛章七〇歳祝賀の歌……………	486
----	-------------------------	-----

17	（文久二年） 猿渡盛章七〇歳祝賀の歌……………	487
----	-------------------------	-----

18	年月不詳 宮崎義房の詠草集……………	487
----	--------------------	-----

## 第六章 中嶋家文書

解説……………	492
---------	-----

1	享和四年二月 柴崎村絵図……………	494
---	-------------------	-----

2	安政五年四月 柴崎村ほか四か村による組合用水路堀敷場所 の改め証文……………	496
---	---	-----

3	寛文七年二月 柴崎村検地帳写……………	498
---	---------------------	-----

4	寛政六年五月 柴崎村年番名主願書……………	522
---	-----------------------	-----

5	天保四年九月 医王山満願寺常什物の記録……………	523
---	--------------------------	-----

6	天保五年四月 医王山満願寺祠堂帳及び田畑古証文の写……………	527
---	--------------------------------	-----

7	天保五年一二月 医王山満願寺再建の記録……………	535
---	--------------------------	-----

## 第七章 普濟寺文書

解説……………	540
---------	-----

### 第一節 普濟寺の概要

1	延宝七年八月 普濟寺の明細書き上げ……………	543
---	------------------------	-----

2	宝永四年一〇月 普濟寺什物・祠堂金・田畑寄進帳……………	543
3	安政五年三月 普濟寺及び門中の人別改め帳……………	552
第二節 朱印状と本領安堵		
4	天正一九年一月 徳川家康朱印状写……………	557
5	慶安元年八月 徳川家光朱印状写……………	557
6	年不詳七月 徳川秀忠朱印状不所持の理由についての上申書……………	558
7	(延享三年) 朱印の書き替えにおける記録……………	558
8	天明七年四月 朱印改めについての請書……………	560
9	未(天明七年) 八月 朱印改めについての手目録……………	560
10	明治元年一二月 朱印地安堵のための上納金についての議定書……………	561
第三節 普濟寺の経営		
11	(弘化三年) 天源庵拝借金の無利息五年賦での返済願ひ……………	562
12	(弘化三年) 天源庵拝借金の無利息五年賦での返済願ひ……………	562
13	(弘化三年) 普濟寺借財のため当住退院願ひ……………	563
14	(弘化三年) 九月 常楽院仮住についての書状……………	564
15	嘉永三年一〇月 庫裏再建における大工棟梁の請負証文……………	564
第四節 普濟寺領と開発		
16	貞享五年二月 普濟寺領田方年貢を米納・定納に改める証文……………	565
17	寛政七年 普濟寺領宇鯉沼の開発についての証文……………	567
18	寛政一二年三月 普濟寺持分宇滝ノ下の開発についての請書……………	567
19	安政二年一二月 普濟寺領字地蔵坂を小作地として開発する旨の議定書……………	567

第五節 村人と普濟寺		
20	宝暦四年五月 宮崎和泉と普濟寺の神葬祭出入りについての 済口証文……………	568
21	宝暦四年五月 宮崎和泉と普濟寺の神葬祭出入りについての 取替証文……………	569
22	嘉永七年三月 普濟寺門前百姓一件訴答写……………	569
23	嘉永七年三月 普濟寺門前百姓一件についての請書……………	572
24	嘉永七年三月 普濟寺門前百姓年中夫役定めめの事……………	573
第八章 諸家文書		
解説……………		
第一節 五十嵐利子家文書		
1	元文五年二月 普濟寺領下田の寄進証文……………	578
2	(文化六年) 元禄二年柴崎村祭礼獅子覚及び五十嵐家家訓覚……………	578
第二節 立川院文書		
3	明和四年七月 立川院修験に対する金欄地結袈裟着用の免許 状……………	579
4	明和四年八月 立川院修験に対する法印補任の免許状……………	579
5	明和四年八月 立川院修験に対する権大僧都補任の免許状……………	580
6	明和四年八月 立川院修験に対する桃地結袈裟着用の免許状……………	580
7	明和四年八月 立川院修験に対する院号補任の免許状……………	581
第三節 寺口ふく家文書		
8	元禄一〇年一二月 柴崎村字富士塚畑地の譲渡証文……………	581

9	明和四年正月	柴崎村字中あらく切畑の譲渡証文……………	581
10	天保四年九月	柴崎村字台台下田の流地証文……………	582
<b>第九章 市外文書</b>			
解説……………			
<b>第一節 大神村石川善太郎家文書</b>			
1	文政七年	玉川の洪水と川除御普請についての記録……………	586
<b>第二節 中藤新田中藤伸弥家文書</b>			
2	安永三年三月	柴崎新田畑地の流地証文……………	588
3	寛政六年一〇月	柴崎新田の取り計らいを中藤新田弥左衛門 に委ねる旨の議定書……………	588
4	文化九年四月	芋窪新田・柴崎新田の呑用水の勝手な堀割に ついで詫び証文……………	589
5	文化一三年九月	年貢差詰まりのため金子借用証文……………	590
6	文化一三年一二月	年貢差詰まりのため金子借用証文……………	590
7	安政四年一二月	柴崎新田百姓代より中藤新田名主の不正に 対する訴状……………	590
8	文久四年正月	博奕を催し逃亡した者が捨て置いた品につい ての証文……………	592
9	明治五年一二月	中藤新田外三ヶ新田の兼帯戸長を年番で命 じられたき旨の願書……………	593

<b>第三節 連光寺村富沢家文書</b>			
10	文政一三年正月	柴崎村・日野宿喧嘩一件についての柴崎村 百姓からの検使願い……………	596
11	文政一三年正月	柴崎村・日野宿喧嘩一件についての日野宿 百姓からの吟味願い……………	596
12	文政一三年正月	柴崎村・日野宿喧嘩一件内済のため吟味下 げ願い……………	597
		掲載史料所蔵者・参考文献……………	599
		協力者・協力機関・執筆者・市史編さん関係者……………	602